



平成19年7月11日
第125回役員会決議
第76回評議員会決議

平成19年度
「荒川区のまちづくりに関する要望書」

荒川区におかれましては、従前より東京商工会議所荒川支部の要望活動に対しまして、施策への反映等に積極的に対応いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、荒川区は、平成19年3月に新たな基本構想を策定し、荒川区の将来像を「幸福実感都市あらかわ」とし、1「生涯健康都市」、2「子育て教育都市」、3「産業革新都市」、4「環境先進都市」、5「文化創造都市」、6「安全安心都市」の6つの都市像を掲げました。現在は、この将来像の実現に向け荒川区のまちづくりが本格的に始動をし始めたところです。荒川区が企業や区民にとって魅力ある街へとさらに発展するよう下記のとおり検討を頂きたいと要望をいたします。

記

1、「生涯健康都市」あらかわの創造

(1) 隅田川の活用

荒川区は隅田川に8kmも接する立地に恵まれた地域です。

高度成長期のヘドロの匂いがしたかつての隅田川ではなく、荒川区の貴重な観光資源の一つとしての認識のもと、この隅田川を観光、レクリエーション、健康づくりに役立てることの検討をお願いいたします。

(2) 荒川自然公園と隅田川とのバリアフリー化

荒川自然公園には多くの高齢者の方の散策が見られますが、覆蓋公園のため、段差が大きく高齢者や障害者の利用に難儀な状況が推察されますので、エレベーターの設置を行うなどの検討をお願いいたします。

(3) 下水道局専用テニスコートの一般開放

三河島水再生センターを航空写真から見ると、区民に開放されていないテニスコート4面が荒川自然公園の南側部分に確認できます。区内のスポーツ施設の有効活用及び区民サービス向上並びに区民の健康の増進の観点から一般開放に向けての検討をお願いいたします。

2、「子育て教育都市」あらかわの創造

(1) 旧主ポンプ室及び関連施設を水再生館として整備

大正11年に建設され関東大震災を生き残り、平成11年3月まで稼動していた旧主ポンプ室をはじめとする煉瓦造りの施設は区民に赤レンガの建物として親しまれてきましたが、観光資源のみならず、下水道事業に対する理解を深める施設として、荒川区の小学生をはじめ区民に水処理の全貌が理解できるような水再生館の設置の検討をお願いします。

(2) 郷土荒川を愛する子供の育成

荒川区には、名所・史跡が数多くあり、研究されている方も数多くいます。日本の歴史を学ぶ中で、これらの研究家にも、子供たちへの教育に参加を頂き、荒川区の歴史をともに学び、郷土荒川を愛する子供たちを育成する工夫を検討されますようお願いいたします。

3、「産業革新都市」あらかわの創造

(1) ものづくりへの支援

当支部では、平成15年4月より荒川区、首都大学東京健康福祉学部及び都立産業技術高等専門学校の協力を得て、荒川版産学官連携交流事業を実施し、累計9件の相談件数に止まっておりますが、昨年、区内企業の製品開発及び性能試験等4社の技術相談が持ち込まれ、技術相談の潜在的な需要があることが推察されます。

荒川版産業クラスター形成を実現するためにも、産学官連携が利用者にとって多大な利益を生むことを周知する施策を実施し、利用者の促進に努力されるようお願いいたします。

(2) 工場立地・操業環境の整備

工場を有する事業者が用途地域の指定変更等により、十分な増改築ができないため、区外への転出や、事業の断念を迫られるケースがでています。職住混在の街の混乱をさけ、将来を見据えた産業振興の観点から工場の操業環境の確保に努力をされますようお願いいたします。

(3) 株式会社あらかわTMOの支援

平成12年3月に策定された南千住駅周辺地域を対象とした活性化事業を推進すべく、平成14年9月に株式会社あらかわTMOが関係者の努力のもとに官民で設立されました。今後とも、財政基盤が弱いTMO活動への理解・支援をお願いいたします。

(4) 日暮里駅周辺再開発事業

日暮里駅周辺再開発事業等、工事完成後新たにビルに入るテナントとしては、まち全体の活性化の観点から、集客力に優れた魅力あるテナントの誘致に区民が高い関心をもっております。

入居テナントの早期公表をお願いしているところでありますが、魅力あるまちづくりの観点から、引き続き、入居テナントの早期公表に努力されますようお願いいたします。

(5) 商店街組織の未加入者への「荒川区産業振興基本条例」の遵守の徹底

商店街において事業を営むチェーンストア等の商店街組織の未加入・ただ乗り問題があります。地域の振興の観点からこれらの問題の抜本的な解決のため、商店街・チェーンストア運営者の話し合いの場を設定していただきますようお願いいたします。

4、「環境先進都市」あらかわの創造

(1) 三河島水再生センターの活用

荒川区は、23区の中でもいち早く下水道が全地域に整備されたところであります。現在、三河島水再生センターで処理された水は、隅田川に放流され、隅田川の水質の改善と東京湾の富栄養化防止に寄与しています。1日の水処理能力は70万トンといわれるほど豊富な水を、① 街路樹・公園植栽の散水のほか地域冷暖房の利用、② 下水の中に多く含まれているとされるリンの循環利用等、地球温暖化対策の観点からも有効と思われますので、検討をお願いいたします。

(2) 荒川区の環境美化条例の推進

平成9年4月に「荒川区まちの環境美化条例」が施行されました。東京23区の先陣を切った取り組みでしたが、街の環境美化には程遠い現状です。街の環境美化を促進するためにも当該条例の推進に力を入れていただくことをお願い致します。

5、「文化創造都市」あらかわの創造

(1) 都電荒川線の活用

都電荒川線は荒川区の貴重な観光資源の一つです。都電の延伸計画については、以前から論議がなされていますが、墨田区に新東京タワーができ、観光をする人の流れが大幅に変わることが予想されますので、ここでもう一度検討されることをお願いいたします。

(2) コミュニティバスの拡大

平成17年4月より荒川区コミュニティバス「さくら」の運行が開始され、街の交通手段として駅と行政施設を中心とした路線設定により地域住民を中心に利用されております。地域住民の利便性をより高め、街の交通手段として、路線の増設を地域住民と一緒に検討をするようお願いいたします。また、観光資源としてできつつある汐入地区への延伸について検討をいただいておりますが、実現に向け、さらに努力されますようお願いいたします。

(3) 隅田川貨物駅の活用

南千住の東側地域は、日本貨物鉄道(株)の隅田川貨物駅があります。面積は、南千住駅の東側地域の約2割を占める大規模なものです。現在、セメントサイロ部分の活用についての開発検討が予定されていますが、この機会に隅田川駅全体についても、荒川区の文化にふさわしいホテル、公園、競技場、娯楽施設など、日本貨物鉄道(株)にとっても望ましい土地の活用について、調査・検討をお願いいたします。

6、「安全・安心都市」あらかわの創造

(1) 木造住宅密集市街地の改善

荒川区は、近代産業の発展に伴い、大工場と中小企業が区画整理を経ないで急激に市街化されたため、住・商・工の混在した街となり、道路等の整備基盤が追いつかないまま形成された木造密集市街地が広範囲にわたって存在しています。

荒川区は国、東京都の政策の他、独自に「荒川区近隣まちづくり推進制度」、「荒川区主要生活道路沿道建替助成事業」(安全安心建替制度)を創設されるなど、大変な努力をされていますが、災害時には大規模な火災が発生し、狭隘道路に避難しようとする罹災者が搬出した家財等が充満して、消防自動車等の緊急車両が入れないことが予想されるほどの防災上の緊急課題が俎上にあがっております。再開発を視野にいたした抜本的解決に向け検討されることをお願いいたします。

(2) 耐震補強施策の強化

地震被災時の建物崩壊や火災の延焼が懸念されることから、耐震相談、耐震診断、耐震補強工事について、制度の拡充及び更なる周知の徹底についてお願いし、分譲マンションへの制度拡充の実現にご努力を頂いたところでありますが、賃貸マンションへの制度拡充について更なる努力を頂きたくお願い申し上げます。

また、この耐震補強施策の強化については、当支部と東京都建築士事務所協会荒川支部、NPO法人・まちづくりネットあらかわの各団体の協力・連携のもと無料耐震相談会を実施しているところです。制度の継続のため、当該施策の普及促進のため、協力・連携をしていただける財政

基盤の弱いこれらの団体への理解・支援を頂きますようお願いいたします。

以 上